

第三期データヘルス計画

基本情報		(令和5年3月31日時点)					
人口・被保険者		被保険者等の基本情報					
		全体	%	男性	%	女性	%
人口（人）		5,892	100.0%	2,891	49.1%	3,001	50.9%
国保被保険者数（人）		1,030	100.0%	492	47.8%	538	52.2%
1. 基本的事項							
1－1 ①計画の趣旨	【計画の趣旨・背景】 平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」とされた。 平成26年3月、国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針（以下「国指針」という。）において、市町村国保及び国民健康保険組合（以下、国民健康保険組合を「国保組合」という。以下、両者を併せて本計画では「保険者」という。）は、健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画（データヘルス計画）を策定したうえで、保健事業の実施・評価・改善等を行うものとした。その後、平成30年4月から都道府県が財政運営の責任主体として共同保険者となり、また、令和2年7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020（骨太方針2020）」において、保険者のデータヘルスの計画の標準化等の取組の推進が掲げられ、令和4年12月に経済財政諮問会議における「新経済・財政再生計画改革工程表2022」において、「保険者が策定するデータヘルス計画の手引きの改訂等を行うとともに、当該計画の標準化の進展にあたり、保険者共通の評価指標やアウトカムベースでの適切なKPIの設定を推進する。」と示された。 このように、全ての保険者にデータヘルス計画の策定が求められる、効果的・効率的な保健事業の実施に向けて、標準化の取組の推進や評価指標の設定の推進が進められている。						
	【計画の目的】 保険者においては、幅広い年代の被保険者が存在するため、これらの年代の身体的な状況等に応じた健康課題を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、健康の保持増進、生活の質（QOL）の維持及び向上が図られ、結果として、医療費の適正化に資すると考えられる。 上記を踏まえ、本計画は、被保険者の健康の保持及び増進と医療費適正化を図るために、健診・レセプト等のデータ分析で明らかになった健康課題に対する取組（保健事業）を計画し、当該保健事業の実施及び結果を評価することを目的とする。						
	【計画の位置づけ】 本計画は、国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針（平成16年厚生労働省告示第307号。以下「保健事業実施指針」という。）の一部を改正し、効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画を定めるものである。 策定においては、健康やまぐち21計画（第3次）（令和5年度～令和14年度）や山口県後期高齢者医療広域連合が定める第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）（令和6年度～令和11年度）等との整合性を図り計画をする。						
1－1 ②計画期間	令和6年度～令和11年度						
1－1 ③実施体制	本計画の策定および運用においては、保健福祉課が主体となって進めるが、住民の健康の保持及び増進のため、和木町保健相談センター及び和木町地域包括支援センターと連携した体制で進める。 ＜各プロセスにおける実施体制＞ ①計画策定： ＜実施主体＞保健福祉課　＜支援・助言等＞和木町保健相談センター 和木町地域包括支援センター 山口県 山口県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会 ②事業実施： ＜実施主体＞保健福祉課　＜支援・助言等＞和木町保健相談センター 和木町地域包括支援センター 山口県 ③評価： ＜実施主体＞保健福祉課　＜支援・助言等＞和木町保健相談センター 和木町地域包括支援センター 山口県 山口県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会 ④見直し： ＜実施主体＞保健福祉課　＜支援・助言等＞和木町保健相談センター 和木町地域包括支援センター 山口県 山口県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会						
関係者連携		山口県国民健康保険団体連合会が設置する「保健事業支援・評価委員」による意見を踏まえ、事業に反映する。 また、保健事業の実施にあたっては、医療関係団体等の関係機関とより一層の連携を図り、効果的な保健事業が実施できるように努める。					
保険者及び関係者		具体的な役割、連携内容					
1－2 ①市町村国保	近隣の市町村国保及び同規模の市町村国保と積極的な情報共有を図る。						
1－2 ②都道府県（国保部局）	保健事業に関連して交付される交付金等の申請等について、指導及び助言を受ける。						
1－2 ③都道府県（保健衛生部局）	保健事業の実施等に関して指導及び助言を受ける。						
1－2 ④保健所							
1－2 ⑤国民健康保険団体連合会及び保健事業支援・評価委員会	国民健康保険団体連合会：受領する保健事業に関するデータを活用する。 保健事業支援・評価委員会：データヘルス計画推進に関する支援・助言を活用する。						
1－2 ⑥後期高齢者医療広域連合	広域連合が主催する高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業の関係者による定期的な協議及び会議に参加する。						
1－2 ⑦保健医療関係者	山口県医師会が主催する都市医師会特定健診・特定保健指導担当理事及び関係者合同会議に参加し、保健事業の実施結果及び実施状況等の情報共有を行う。						
1－2 ⑧その他							
2. 現状の整理							
2－1 ①保険者の特性	【被保険者の年齢構成】 被保険者の年齢構成は15歳未満が4.4%、15歳以上40歳未満が12.2%、40歳以上65歳未満が27.5%、65歳以上75歳未満が55.9%で、加入率は横ばいで推移しているが、全体の加入者数は減少傾向にある。 性別では、男性が47.8%、女性が52.2%で、平成30年度と比較して女性の割合が増加している。						
2－1 ②地域資源の状況	介護予防事業として、体操（運動）を主な活動内容とする通いの場である「転ばぬ先のちえ教室」や「いきいき教室」が7か所、会食や茶話会を主な活動内容とする通いの場である高齢者サロンが14か所存在する。 また、地区組織活動を通して、望ましい食生活の実践と定常、健康で活力のある地域づくりを推進することを目的として組織される和木町食生活改善推進協議会は、便伝講習会を地区ごとに実施している。						
2－1 ③前期計画等に係る考察	【第2期データヘルス計画における保健事業の実施状況】 第2期データヘルス計画では、被保険者の健康意識向上等を目的に ・特定健康診査受診率、特定保健指導受診率向上計画 ・健康意識向上事業計画 ・医療費適正化対策 ・糖尿病等予防事業 を実施した。 【目標の達成状況】 目標値の達成はかなわなかったが、一定数増加傾向がみられた。 【達成状況に係る要因】 特定健康診査受診率、特定保健指導受診率向上計画については、自己負担の撤廃及び集団検診において各種がん検診（乳がん検診を除く）との同時実施の影響から一定の増加は見られたが目標値達成に至らなかった。 また、第2期全体を通して、保健事業参加者のうち、壮年期の被保険者が占める割合が少ないという課題がみられた。						

Ⅱ 健康医療情報等の分析と課題

①健康・医療情報等の大分類	②左記の大分類のうち、健康・医療情報等の分析に必要な各種データ等の分析結果（必要に応じて適宜追加・削除）	参照データ		③健康課題との対応
平均寿命・標準化死亡率等	○平均寿命 ・男性80.3歳、女性87.0歳（国：男性80.8歳、女性87.0歳） ・男性は国より0.5年短く、女性は国と同等	図表①－1	地域の全体像の把握	－
	○標準化死亡率 ・男性99.6‰、104.0‰ ・男性は国より0.4‰低く、女性は国より0.4‰高い	図表①－2	地域の全体像の把握	－
	○平均余命 ・概ね全国と同程度で推移している。 ・令和4年度は、全国と比較して、男性が0.4年短く、女性が0.8年長い。	図表①－3	地域の全体像の把握	－
	○平均自立期間（要介護2以上） ・概ね全国と同程度で推移している。 ・令和4年度は、全国と比較して、男性は国より0.2年短く、女性は国より1.7年長い	図表①－4	地域の全体像の把握	－
医療費の分析	○性・年齢階層別医療の受診率 【令和4年度】 ・男性は55～59歳の階層で、最大114.7‰国の受診率を上回る。 ・女性は16～39歳の階層で、最大93.4‰国の受診率を上回る。	図表②－1	医療費分析の経年比較	C
	○入院・外来別で医療費（点数）の高い疾病 【令和4年度】 ・統合失調症と骨折で2倍近くの差がある。 【経年比較】 ・入院では、令和元年度以降、統合失調症が医療費の一番高い疾病となっている。 ・外来では、令和元年度以降、慢性腎不全（透析あり）の医療費が上昇し、順位も上がった。	図表②－2	医療費分析(1)細小分類	C
	○重複・頻回の受診状況 【令和4年度】 重複・頻回受診なし。	図表②－3	重複・頻回受診の状況	C
	○重複服薬の状況等の傾向 【令和4年度】 ・重複薬あり（1剤以上）：0.3％ ・多剤：（10剤以上）5.1％、（15剤以上）0.7％、（20剤以上）0.2％ 【経年変化】 ・重複服薬は減少傾向にあるが、多剤服薬は増加傾向にある。	図表②－4	重複・多剤処方状況	C
特定健康診査・特定保健指導等の健診データの分析（質問票を含む）	○性・年齢階層別特定健康診査受診率 【令和4年度】 ・男性は、59歳以下の階層で国の受診率を下回る。 ・女性は、55歳～59歳の階層及び70歳～74歳の階層で国の受診率を下回る。	図表③－1	・健診の状況 ・健康スコアリング（健診）	A
	○特定保健指導実施率 【令和4年度】 ・国の受診率を上回るのは、65～69歳女性の階層だけである。	図表③－2	・健診の状況 ・健康スコアリング（健診）	B
	○各種検査項目の有所見率 【令和4年度】 ・男女ともに収縮期血圧及びnon-HDLコレステロールにおいて、全国の有所見率を10％以上上回る。 【経年変化】 ・腹囲及び尿酸において、有所見率が上昇している。	図表③－3	・健診・医療・介護データからみる地域の健康課題 ・厚生労働省様式（様式5－2） ・集計対象者一覧（健診ツリー図より遷移）	A
	○健康状態、生活習慣の状況 ・喫煙 →男性は、所見者率が高く、令和元年度から上昇傾向にあり、令和4年度に全国の所見者率を上回る。 ・1回30分以上の運動習慣なし ・1日1時間以上の運動なし →男性より女性の方が運動量が不足している。 ・週3回以上朝食を抜く →所見者率は、令和元年度から男女ともに上昇傾向にあり、女性の割合が増えている。 ・飲酒頻度（毎日） ・飲酒頻度（時々） →男性は、所見者率が高く、令和元年度から上昇傾向にある。 ・睡眠不足 →女性は、所見率が高く、令和4年度に全国の所見者率を7.8％上回る。 ・生活習慣改善（改善意欲なし） →男性は5.1％、女性は9.2％令和元年度から上昇している。 →令和4年度の所見者率は、男女ともに全国を上回っている。 ・保健指導利用意思なし →令和4年度の所見者率は、男女ともに6割を上回っている。	図表③－4	・地域の全体像の把握 ・質問票調査の状況	A
レセプト・健診データ等を組み合わせた分析	【令和4年度】 ・健診未受診者438人（うち、生活習慣病治療なし135人） →健診未受診者の3割以上が生活習慣病治療なしであり、特定健康診査の未受診者対策が必要である。	図表④－1	糖尿病等生活習慣病予防のための健診・保健指導	A
介護費関係の分析	○介護給付費の状況 【全体】 ・1件当たり給付費について、全国が減少傾向にあるが、本町は増加傾向にある。 ・要介護1、要介護4、要介護5において、1件当たり給付費が増加傾向にある。	図表④－2	地域の全体像の把握	－
	○介護認定の状況 ・2号認定率に若干の増加傾向がみられる。	図表④－3	地域の全体像の把握	－
その他				
参照データ	地域の全体像の把握、医療費分析の経年比較、医療費分析(1)細小分類、重複・頻回受診の状況、重複・多剤処方の状況、健診の状況、・健康スコアリング（健診）、健診・医療・介護データからみる地域の健康課題、厚生労働省様式（様式5－2）、集計対象者一覧（健診ツリー図より遷移）、質問票調査の状況、糖尿病等生活習慣病予防のための健診・保健指導			

＜分析結果・グラフ等を貼付＞

（注）上記各種データについては、経年比較、国・都道府県・同規模保険者との比較等により分析する方法もある。

Ⅲ 計画全体

保険者の健康課題		被保険者の健康に関する課題	
①項目	②健康課題	③優先する健康課題	④対応する保健事業番号
A	特定健康診査の受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響により、集団健診未実施の令和2年度を除き、県及び全国の受診率を上回っている。しかし、目標値には届いておらず、特定健康診査受診率向上に取り組む必要がある。	1	1～4
B	メタボリックシンドローム該当者率は、増加傾向にあり、令和4年度に全国のメタボリックシンドローム該当者率を上回っている。そのため、生活習慣病の重症化を防ぐため、特定保健指導実施率の向上に取り組む必要がある。	3	5
C	被保険者1人当たり医療費は、増加傾向にあり、全国の被保険者1人当たり医療費を上回っているため、医療費適正化対策に取り組む必要がある。	2	6・7

⑬項目	⑭データヘルス計画（保健事業全体）の目標を達成するための戦略
A～C	保健事業の安定的な実施のため、補助金等を活用して予算確保に努める。
A・B	マンパワー不足を補うために適宜外部委託や地域資源を活用しながら事業を実施していく。
C	通知等を活用しながら被保険者への周知啓発を積極的に行う。

解決すべき健康課題と保健事業の対応づけ

データヘルス計画全体における目的		被保険者の健康状態の見える化及び生活習慣病の早期発見・早期治療・予防に向けた事業を展開する。							
⑤項目	⑥データヘルス計画全体における目標	⑦評価指標	⑧計画策定時実績	⑨目標値					
			2022年度(R4)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)	2028年度(R10)	2029年度(R11)
A	特定健康診査実施率の向上	特定健康診査実施率	43.5%	45.0%	50.0%	50.0%	55.0%	55.0%	60.0%
B	特定保健指導実施率の向上	特定保健指導実施率	22.0%	30.0%	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%
B	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率の向上	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	16.7%	増加	増加	増加	増加	増加	増加
B	特定保健指導対象者の減少	特定保健指導対象者の減少率	23.7%	増加	増加	増加	増加	増加	増加
B	HbA1c 8.0 %以上の者の割合の減少	HbA1c 8.0 %以上の者の割合	0.0%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%
B	高血糖者の割合の減少	高血糖者の割合	13.6%	増加させない	増加させない	増加させない	増加させない	増加させない	増加させない
B	HbA1c 6.5%以上の者のうち、糖尿病のレセプトがない者の割合の減少	HbA1c 6.5%以上の者のうち、糖尿病のレセプトがない者の割合	0.0%	減少	減少	減少	減少	減少	減少
B	血圧が保健指導判定値以上の者の割合の減少	血圧が保健指導判定値以上の者の割合	63.3%	減少	減少	減少	減少	減少	減少
C	後発医薬品の使用割合（数量ベース）の向上／維持	後発医薬品の使用割合（数量ベース）	82.3%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%

（注１）太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

個別の保健事業	

⑩事業番号	⑪事業名称	⑫重点・優先度
1	特定健康診査事業	1
2	特定健康診査未受診者勧奨事業	2
3	特定健康診査40歳前勧奨事業	3
4	人間ドック事業	4
5	特定保健指導事業	7
6	医療費適正化事業	5
7	健康教育事業	6

IV 個別の保健事業

事業番号 1	①事業名称	特定健康診査事業
②事業の目的	生活習慣病予防	
③対象者	40～74歳の被保険者で、受診年度の4月1日及び受診日時点において和木町国保の資格を有する者	
④現在までの事業結果	特定健康診査受診率は、昨年度まで集団/個別の両方の健診を行った結果、目標の50.0%は達成しなかったものの令和元年度から比較して2.7%受診率を上げることができた。	

⑤今後の目標値

指標	⑥評価指標	⑦計画策定 時実績	⑧目標値					
		2022年度 (R4)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム (成果) 指標	HbA1c8.0%以下の人の割合	0.0%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%
アウトプット (実施量・率) 指標	特定健康診査受診率	43.5%	45.0%	50.0%	50.0%	55.0%	55.0%	60.0%

(注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。
(注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための 主な戦略	特定健康診査受診率の向上のため、積極的な受診勧奨を行う。
---------------------	------------------------------

⑩現在までの実施方法（プロセス）

周知勧奨：書面による受診勧奨通知の発送を実施。
実施形態：個別健診及び集団健診を実施。
実施場所：個別健診→契約医療機関、集団健診→和木町保健相談センター
実施項目：法定の実施項目
実施期間：6月
結果提供：書面にて結果を交付。

⑪今後の実施方法（プロセス）の改善案、目標

特定健康診査受診率の向上を目指し、積極的な周知勧奨を目標とした以下方法で実施する。

周知勧奨：書面による受診勧奨通知。
実施形態：個別健診及び集団健診を実施。
実施場所：個別健診→契約医療機関、集団健診→和木町保健相談センター
実施項目：法定の実施項目
実施期間：6月
結果提供：書面にて結果を交付。

⑫現在までの実施体制（ストラクチャー）

保健福祉課：実施方法等を検討
和木町保健相談センター：集団健診の実施
医師会：地域の医療機関への呼びかけ
かかりつけ医：患者への呼びかけや個別健診の実施
外部委託：集団健診の実施

⑬今後の実施体制（ストラクチャー）の改善案、目標

引き続き同様の体制で実施する。

保健福祉課：実施方法等を検討
和木町保健相談センター：集団健診の実施
医師会：地域の医療機関への呼びかけ
かかりつけ医：患者への呼びかけや個別健診の実施
外部委託：集団健診の実施

⑭評価計画

令和8年に中間評価を行い、指標の見直しを行う。

IV 個別の保健事業

事業番号 1	①事業名称	特定健康診査未受診者勧奨事業
②事業の目的	特定健康診査受診率向上	
③対象者	特定健康診査の対象者で、基準日までに特定健康診査を受診していない者	
④現在までの事業結果	令和4年度より事業を開始。勧奨を受けた未受診者が健診を受診した割合は、目標の10.0%に届かなかった。	

⑤今後の目標値

指標	⑥評価指標	⑦計画策定時実績	⑧目標値					
		2022年度 (R4)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム (成果) 指標	勧奨を受けた未受診者が健診を受診した割合	4.1%	10.0%	10.0%	15.0%	15.0%	20.0%	20.0%
アウトプット (実施量・率) 指標	対象者への勧奨実施率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。
(注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための主な戦略	勧奨を受けた未受診者が健診を受診した割合向上のため、ナッジ理論を活用した勧奨文を送付する。
-----------------	---

⑩現在までの実施方法（プロセス）

周知勧奨：書面による受診勧奨通知の発送を実施。 実施期間：10月

⑪今後の実施方法（プロセス）の改善案、目標

勧奨を受けた未受診者が健診を受診した割合の向上を目指し、ナッジ理論を活用した積極的な周知勧奨を目標とした以下方法で実施する。 周知勧奨：書面による受診勧奨通知の発送を実施。 実施期間：10月

⑫現在までの実施体制（ストラクチャー）

保健福祉課	：実施方法等を検討、勧奨の実施
医師会	：地域の医療機関への呼びかけ
かかりつけ医	：個別健診の実施

⑬今後の実施体制（ストラクチャー）の改善案、目標

引き続き同様の体制で実施する。	
保健福祉課	: 実施方法等を検討、勧奨の実施
医師会	: 地域の医療機関への呼びかけ
かかりつけ医	: 個別健診の実施

⑭評価計画

令和8年に中間評価を行い、指標の見直しを行う。

IV 個別の保健事業

事業番号 1	①事業名称	特定健康診査40歳前勧奨事業
②事業の目的	特定健康診査受診率の向上	
③対象者	年度内に39歳になる被保険者	
④現在までの事業結果	令和4年度より事業を開始。アンケートで来年度受診すると回答した割合は、100.0%であった。	

⑤今後の目標値

指標	⑥評価指標	⑦計画策定時実績	⑧目標値					
		2022年度(R4)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)	2028年度(R10)	2029年度(R11)
アウトカム(成果)指標	アンケートで来年度受診すると回答した割合	50.0%	50.0%	50.0%	60.0%	60.0%	70.0%	70.0%
アウトプット(実施量・率)指標	対象者への勧奨実施率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。
(注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための主な戦略	アンケートで来年度受診すると回答した割合向上のため、パンフレット等を同封することで特定健康診査の概要の周知をする。
-----------------	---

⑩現在までの実施方法（プロセス）

周知勧奨：アンケートの発送を実施。 実施期間：10月

⑪今後の実施方法（プロセス）の改善案、目標

アンケートで来年度受診すると回答した割合の向上を目指し、パンフレット等を活用した周知を目標とした以下方法で実施する。 周知勧奨：受診勧奨通知及びアンケートの発送を実施。 実施期間：10月

⑫現在までの実施体制（ストラクチャー）

保健福祉課：実施方法等を検討、勧奨の実施

⑬今後の実施体制（ストラクチャー）の改善案、目標

引き続き同様の体制で実施する。 保健福祉課：実施方法等を検討、勧奨の実施

⑭評価計画

令和8年に中間評価を行い、指標の見直しを行う。

IV 個別の保健事業

事業番号 1	①事業名称	人間ドック事業
②事業の目的	被保険者の健康保持増進	
③対象者	満35歳以上の被保険者	
④現在までの事業結果	人間ドック受診率は、令和元年度0.4%及び令和3年度0.1%以外の年度では、0.0%となっている。	

⑤今後の目標値

指標	⑥評価指標	⑦計画策定 時実績	⑧目標値					
		2022年度 (R4)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム (成果) 指標	HbA1c8.0%以下の人の割合	0.0%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%
アウトプット (実施量・率) 指標	人間ドック受診率	0.0%	1.0%	1.0%	1.5%	1.5%	2.0%	2.0%

(注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。
(注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための 主な戦略	人間ドック受診率向上のため、積極的な周知広報を行う。
---------------------	----------------------------

⑩現在までの実施方法（プロセス）

周知広報：広報紙に制度概要の記事を掲載。 実施形態：契約医療機関で実施。 実施場所：契約医療機関 実施項目：一般理学検査、検尿、検便、血液検査、胸部レントゲン、心電図検査 実施期間：4月～3月 結果提供：書面にて結果を交付。

⑪今後の実施方法（プロセス）の改善案、目標

人間ドック受診率の向上を目指し、積極的な周知広報を目標とした以下方法で実施する。 周知広報：広報紙に制度概要の記事を掲載。 実施形態：契約医療機関で実施。 実施場所：契約医療機関 実施項目：一般理学検査、検尿、検便、血液検査、胸部レントゲン、心電図検査 実施期間：4月～3月 結果提供：書面にて結果を交付。

⑫現在までの実施体制（ストラクチャー）

保健福祉課：実施方法等を検討 外部委託：人間ドックの実施

⑬今後の実施体制（ストラクチャー）の改善案、目標

引き続き同様の体制で実施する。 保健福祉課：実施方法等を検討 外部委託：人間ドックの実施
--

⑭評価計画

令和8年に中間評価を行い、指標の見直しを行う。

IV 個別の保健事業

事業番号 1	①事業名称	特定保健指導事業
②事業の目的	生活習慣病予防	
③対象者	特定健康診査受診者で、特定保健指導対象基準に該当する被保険者	
④現在までの事業結果	特定保健指導実施率は、目標の35.0%は達成しなかったものの令和元年度から比較して7.1%実施率を上げることができた。	

⑤今後の目標値

指標	⑥評価指標	⑦計画策定時実績	⑧目標値					
		2022年度(R4)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)	2028年度(R10)	2029年度(R11)
アウトカム(成果)指標	生活習慣の改善割合	60.0%	65.0%	65.0%	70.0%	70.0%	75.0%	75.0%
アウトプット(実施量・率)指標	特定保健指導実施率	22.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	60.0%

(注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。
(注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための主な戦略	特定保健指導実施率の向上のため、積極的な利用勧奨を行う。
-----------------	------------------------------

⑩現在までの実施方法（プロセス）

周知勧奨：対象者へ電話による個別利用勧奨を実施。 実施形態：委託又は直営 実施場所：委託→契約医療機関、直営→和木町保健相談センター 実施項目：初回面接、継続支援、評価 実施期間：6月～3月 結果提供：書面にて結果を共有。
--

⑪今後の実施方法（プロセス）の改善案、目標

特定保健指導実施率の向上を目指し、積極的な周知勧奨を目標とした以下方法で実施する。 周知勧奨：対象者へ電話による個別利用勧奨を実施。 実施形態：委託又は直営 実施場所：委託→契約医療機関、直営→和木町保健相談センター 実施項目：初回面接、継続支援、評価 実施期間：6月～3月 結果提供：書面にて結果を共有。

⑫現在までの実施体制（ストラクチャー）

保健福祉課：実施方法等を検討 和木町保健相談センター：特定保健指導の実施 外部委託：特定保健指導の実施

⑬今後の実施体制（ストラクチャー）の改善案、目標

引き続き同様の体制で実施する。 保健福祉課：実施方法等を検討 和木町保健相談センター：特定保健指導の実施 外部委託：特定保健指導の実施
--

⑭評価計画

令和8年に中間評価を行い、指標の見直しを行う。

IV 個別の保健事業

事業番号 1	①事業名称	医療費適正化事業
②事業の目的	医療費軽減	
③対象者	ジェネリック医薬品への切替により、自己負担額の削減が見込まれる被保険者	
④現在までの事業結果	後発医薬品の使用割合（数量ベース）は、目標の75.0%を達成し、令和元年度から比較して0.9%使用割合を上げることができた。	

⑤今後の目標値

指標	⑥評価指標	⑦計画策定時実績	⑧目標値					
		2022年度 (R4)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム（成果）指標	切替による一人当たり削減効果（保険者負担額）	8,094円	8,500円	8,500円	9,000円	9,000円	9,500円	9,500円
アウトプット（実施量・率）指標	後発医薬品の使用割合（数量ベース）	82.3%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%

（注1）評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。
（注2）太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための主な戦略	後発医薬品の使用割合（数量ベース）の向上のため、積極的な利用勧奨を行う。
-----------------	--------------------------------------

⑩現在までの実施方法（プロセス）

周知勧奨：対象者へ文書による個別利用勧奨を実施。
実施形態：委託
委託機関：山口県国民健康保険団体
実施期間：6月、12月
結果提供：書面にて結果を送付。

⑪今後の実施方法（プロセス）の改善案、目標

後発医薬品の使用割合（数量ベース）の向上を目指し、積極的な利用勧奨を目標とした以下方法で実施する。

周知勧奨：対象者へ文書による個別利用勧奨を実施。
実施形態：委託
委託機関：山口県国民健康保険団体
実施期間：6月、12月
結果提供：書面にて結果を送付。

⑫現在までの実施体制（ストラクチャー）

保健福祉課：除外対象者等を検討
山口県国民健康保険団体：個別利用勧奨の実施

⑬今後の実施体制（ストラクチャー）の改善案、目標

引き続き同様の体制で実施する。

保健福祉課：除外対象者等を検討
山口県国民健康保険団体：個別利用勧奨の実施

⑭評価計画

令和8年に中間評価を行い、指標の見直しを行う。

IV 個別の保健事業

事業番号 1	①事業名称	健康教育事業
②事業の目的	健康意識の向上	
③対象者	町内在住者	
④現在までの事業結果	令和4年度より事業を開始。アンケートにて「理解が深まった」と回答した割合は、目標の50.0%を上回った。	

⑤今後の目標値

指標	⑥評価指標	⑦計画策定時実績	⑧目標値					
		2022年度(R4)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)	2028年度(R10)	2029年度(R11)
アウトカム(成果)指標	アンケートにて「理解が深まった」と回答した割合	92.3%	90.0%	90.0%	90.0%	95.0%	95.0%	95.0%
アウトプット(実施量・率)指標	受講者へのアンケート実施率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。
(注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための主な戦略	受講者の理解が深まるよう、グループディスカッション等の導入を検討する。
-----------------	-------------------------------------

⑩現在までの実施方法（プロセス）

周知広報：広報紙への掲載及びチラシの配布を実施。 実施形態：委託 実施場所：和木町総合コミュニティセンター 講演内容：服薬 実施期間：10月
--

⑪今後の実施方法（プロセス）の改善案、目標

アンケートにて「理解が深まった」と回答した割合の向上を目指し、形式の工夫を目標とした以下方法で実施する。 周知広報：広報紙への掲載及びチラシの配布を実施。 実施形態：委託 実施場所：和木町総合コミュニティセンター 講演内容：服薬 実施期間：10月
--

⑫現在までの実施体制（ストラクチャー）

保健福祉課：実施方法等を検討 和木町保健相談センター：周知広報の実施 外部委託：健康教育の実施

⑬今後の実施体制（ストラクチャー）の改善案、目標

引き続き同様の体制で実施する。 保健福祉課：実施方法等を検討 和木町保健相談センター：周知広報の実施 外部委託：健康教育の実施
--

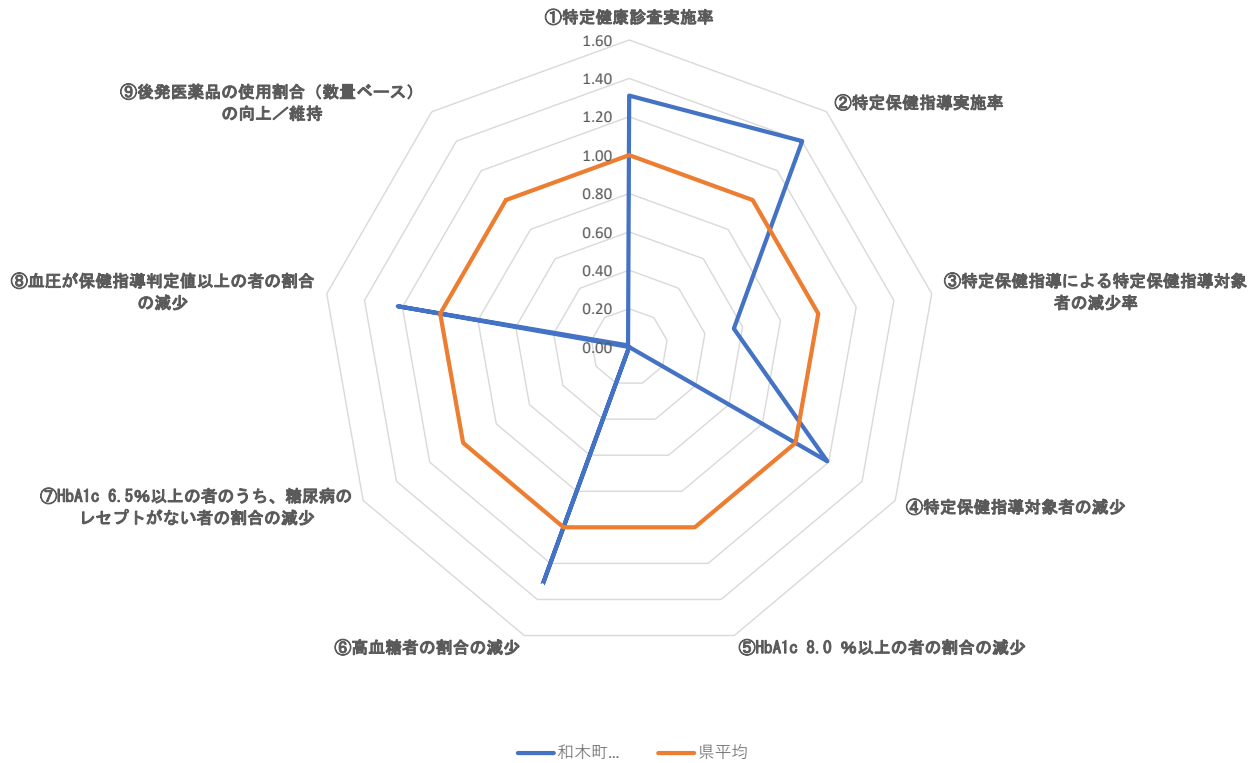
⑭評価計画

令和8年に中間評価を行い、指標の見直しを行う。

V その他

データヘルス計画 の評価・見直し	令和8年度に進捗確認のための中間評価を行い、必要に応じて計画の見直しを行う。 また、計画の最終年度の令和11年度においては、次期計画の策定を円滑に行うための準備も考慮に入れて評価を行う。
データヘルス計画 の公表・周知	本計画は、町のホームページに掲載して公表・周知するものとする。
個人情報の取扱い	保健事業の実施にあたっては、個人情報の保護に関する各種法令・ガイドライン及び和木町の関係例規等に基づき、庁内等での利用、外部委託事業者への業務委託等の各場面で、その保有する個人情報の適切な取り扱いが確保されるよう措置を講じる。
地域包括ケアに 係る取組	和木町保健福祉課は、和木町保健相談センター及び和木町包括支援センターと連携した健康づくりに関する事業等を進めている。 具体的には、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施や「3つのあ」プロジェクト推進といった事業が該当し、町内の医療機関等との連携・協力関係を築き、地域一体となり取組む環境づくりに注力している。
その他留意事項	

和木町の各指標値の実績と県平均との比較の見える化

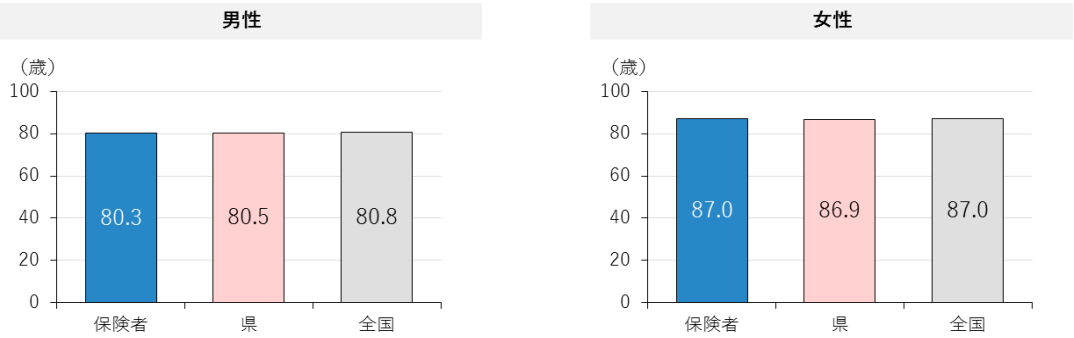


(単位：%)

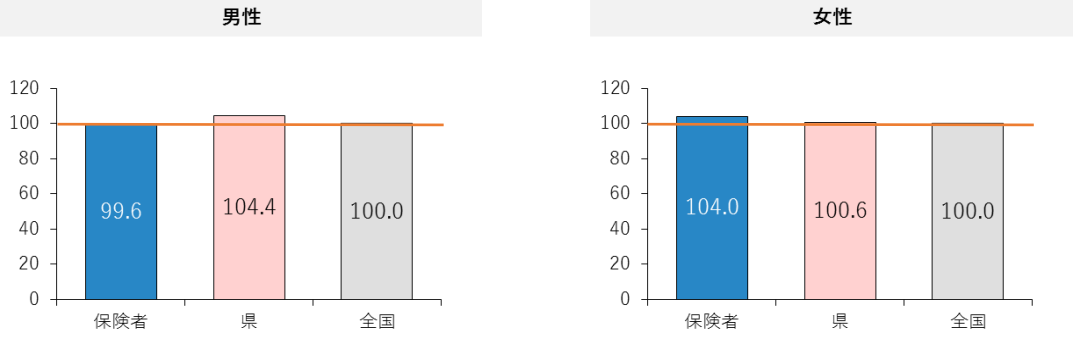
	レーダーチャートの数値		実績値	
	和木町 (a/b or (100-a)/(100-b))	県平均	和木町 (a)	県平均 (b)
①特定健康診査実施率	1.31	1.00	43.5%	33.2%
②特定保健指導実施率	1.40	1.00	22.0%	15.7%
③特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	0.55	1.00	16.7%	30.2%
④特定保健指導対象者の減少	1.19	1.00	23.7%	19.9%
⑤HbA1c 8.0 %以上の者の割合の減少	0.00	1.00	0.0%	1.3%
⑥高血糖者の割合の減少	1.32	1.00	13.6%	10.3%
⑦HbA1c 6.5%以上の者のうち、糖尿病のレセプトがない者の割合の減少	0.00	1.00	0.0%	7.3%
⑧血圧が保健指導判定値以上の者の割合の減少	1.22	1.00	63.3%	51.7%
⑨後発医薬品の使用割合（数量ベース）の向上／維持	0.01	1.00	82.3%	82.5%

図表① 平均寿命・標準化死亡比等

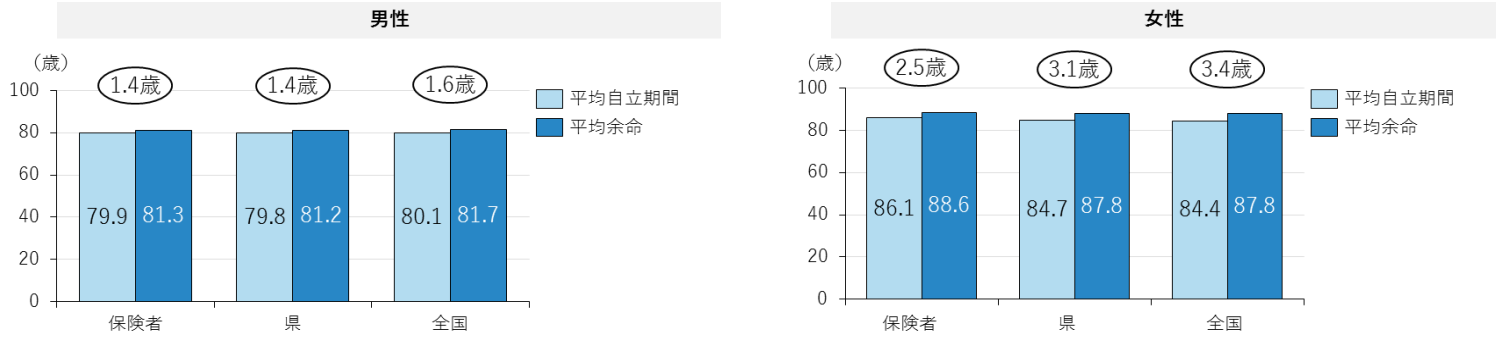
図表①－1 平均寿命



図表①－2 標準化死亡比



図表①－3 平均余命・平均自立期間（要介護2以上）



図表② 医療費の分析

図表②-1 性・年齢階層別医療の受診率

	2021年度									
	0～1歳	15～19歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	
自費診療	受診率	833.117	279.402	446.938	409.797	475.731	705.135	855.773	945.517	1914.811
	セブティ費	195	512	66	86	206	185	201	1371	2085
	検査費	308	82	177	253	433	234	539	1450	2053
	検査回数	567,818	224,759	439,033	393,123	589,138	874,985	1,046,644	1,139,811	1,139,811
調剤診療	受診率	46.37	82.899	26.709	41.778	49.267	32.887	58.171	27.149	50.148
	セブティ費	19	43	12	15	45	27	43	17	20
	検査費	30	10	2	2	5	3	5	2	2
	検査回数	500,190	178,884	346,934	418,335	459,447	380,205	682,688	305,928	364,222
同規模	受診率	66.567	131.529	78.243	74.088	76.067	68.885	136.671	215.256	724,420
	セブティ費	189,937	181,297	158,243	158,088	158,445	189,230	236,622	346,794	769,670
	検査費	259,245	188,243	358,748	417,473	497,414	385,389	721,733	385,011	1,028,244
	検査回数	6,188,877	3,838,651	6,312,406	6,745,465	6,558,035	6,450,992	9,455,912	8,938,662	18,388,472
全国	受診率	12,923.891	33,315.611	9,490.509	11,378.658	12,920.181	19,583.243	13,149.246	24,545.361	38,377.784
	セブティ費									
	検査費									
	検査回数									

図表②-2 入院・外来別で医療費（点数）の高い疾病

	2021年度									
	0～1歳	15～19歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	
自費診療	受診率	265.033	222.209	231.661	445.853	686.154	714.295	773.942	921.459	946.759
	セブティ費	35	448	43	181	197	247	485	1,443	1,889
	検査費	440	562	216	381	325	319	386	1,086	1,891
	検査回数	511,182	476,881	505,624	820,155	678,180	738,241	818,396	911,013	1,139,465
調剤診療	受診率	39.897	82.486	26.947	46.273	56.261	46.245	146.132	345.794	708,354
	セブティ費	79,333	181,477	74,539	143,008	80,108	431	178,599	385,410	619,885
	検査費	468,472	497,890	498,069	641,054	659,847	681,633	742,692	882,619	1,006,763
	検査回数	19,000	18,771	18,679	49,891	76,002	101,381	120,117	171,639	207,005
同規模	受診率	159.932	315.884	35,439	119,892	123,491	153,440	283,189	466,786	792,354
	セブティ費	203,006	431,899	324,132	873,397	831,293	883,386	790,324	1,032,877	1,089,692
	検査費	5,692,396	13,613,984	4,298,971	5,989,915	6,879,377	7,158,902	12,918,357	18,677,885	20,244,446
	検査回数	11,574,183	31,083,693	7,892,354	9,837,471	10,493,409	10,697,017	16,831,234	23,525,184	45,510,619
全国	受診率									
	セブティ費									
	検査費									
	検査回数									

図表②-3 重複・頻回の受診状況



図表②-4 重複原患の状況等の傾向

	重複の医療機関から重複処方を受けた患者数 (1月～1年)	処方を受けた者の割合 (処方を受けた患者 / 重複処方を受けた患者 × 100)				
		2019年04月	2020年04月	2021年04月	2022年04月	2023年04月
1医療機関以上	1以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	9以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2医療機関以上	1以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	9以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3医療機関以上	1以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	9以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4医療機関以上	1以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	9以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5医療機関以上	1以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	9以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6医療機関以上	1以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	9以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7医療機関以上	1以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	9以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8医療機関以上	1以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	9以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9医療機関以上	1以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	9以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10医療機関以上	1以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	9以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表③ 特定健康診査・特定保健指導等の健診データの分析（質問票を含む）

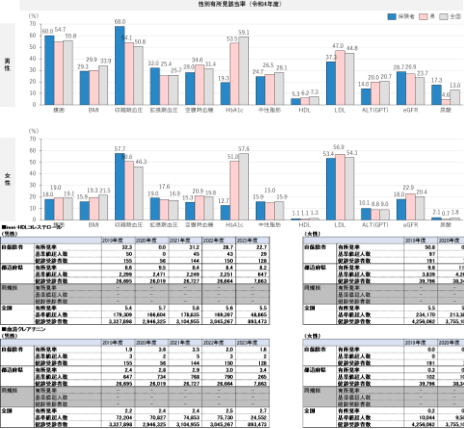
図表③-1 性・年齢層別特定健康診査受診率

性別	年齢層	特定健康診査受診率（％）					
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
男性	男性受診者数	1,108	1,108	1,108	1,108	1,108	1,108
	男性受診率	73.7	73.7	73.7	73.7	73.7	73.7
	男性受診率	73.7	73.7	73.7	73.7	73.7	73.7
	男性受診率	73.7	73.7	73.7	73.7	73.7	73.7
	男性受診率	73.7	73.7	73.7	73.7	73.7	73.7
女性	女性受診者数	450	450	450	450	450	450
	女性受診率	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0
	女性受診率	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0
	女性受診率	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0
	女性受診率	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0
合計	合計受診者数	1,558	1,558	1,558	1,558	1,558	1,558
	合計受診率	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3
	合計受診率	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3
	合計受診率	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3
	合計受診率	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3

図表③-2 特定保健指導実施率

性別	年齢層	特定保健指導実施率（％）					
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
男性	男性受診者数	1,108	1,108	1,108	1,108	1,108	1,108
	男性受診率	73.7	73.7	73.7	73.7	73.7	73.7
	男性受診率	73.7	73.7	73.7	73.7	73.7	73.7
	男性受診率	73.7	73.7	73.7	73.7	73.7	73.7
	男性受診率	73.7	73.7	73.7	73.7	73.7	73.7
女性	女性受診者数	450	450	450	450	450	450
	女性受診率	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0
	女性受診率	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0
	女性受診率	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0
	女性受診率	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0
合計	合計受診者数	1,558	1,558	1,558	1,558	1,558	1,558
	合計受診率	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3
	合計受診率	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3
	合計受診率	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3
	合計受診率	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3	64.3

図表③-3 各種検査項目の有所見率



図表④-1 健康状態、生活習慣の状況

図表④-2 健康状態、生活習慣の状況

図表④-3 健康状態、生活習慣の状況

図表④-4 健康状態、生活習慣の状況

図表④-5 健康状態、生活習慣の状況

図表④-6 健康状態、生活習慣の状況

図表④-7 健康状態、生活習慣の状況

図表④-8 健康状態、生活習慣の状況

図表④-9 健康状態、生活習慣の状況

図表④-10 健康状態、生活習慣の状況

図表④-11 健康状態、生活習慣の状況

図表④-12 健康状態、生活習慣の状況

図表④-13 健康状態、生活習慣の状況

図表④-14 健康状態、生活習慣の状況

図表④-15 健康状態、生活習慣の状況

図表④-16 健康状態、生活習慣の状況

図表④-17 健康状態、生活習慣の状況

図表④-18 健康状態、生活習慣の状況

図表④-19 健康状態、生活習慣の状況

図表④-20 健康状態、生活習慣の状況

図表④-21 健康状態、生活習慣の状況

図表④-22 健康状態、生活習慣の状況

図表④-23 健康状態、生活習慣の状況

図表④-24 健康状態、生活習慣の状況

図表④-25 健康状態、生活習慣の状況

図表④-26 健康状態、生活習慣の状況

図表④-27 健康状態、生活習慣の状況

図表④-28 健康状態、生活習慣の状況

図表④-29 健康状態、生活習慣の状況

図表④-30 健康状態、生活習慣の状況

図表④-31 健康状態、生活習慣の状況

図表④-32 健康状態、生活習慣の状況

図表④-33 健康状態、生活習慣の状況

図表④-34 健康状態、生活習慣の状況

図表④-35 健康状態、生活習慣の状況

図表④-36 健康状態、生活習慣の状況

図表④-37 健康状態、生活習慣の状況

図表④-38 健康状態、生活習慣の状況

図表④-39 健康状態、生活習慣の状況

図表④-40 健康状態、生活習慣の状況

図表④-41 健康状態、生活習慣の状況

図表④-42 健康状態、生活習慣の状況

図表④-43 健康状態、生活習慣の状況

図表④-44 健康状態、生活習慣の状況

図表④-45 健康状態、生活習慣の状況

図表④-46 健康状態、生活習慣の状況

図表④-47 健康状態、生活習慣の状況

図表④-48 健康状態、生活習慣の状況

図表④-49 健康状態、生活習慣の状況

図表④-50 健康状態、生活習慣の状況

図表④-51 健康状態、生活習慣の状況

図表④-52 健康状態、生活習慣の状況

図表④-53 健康状態、生活習慣の状況

図表④-54 健康状態、生活習慣の状況

図表④-55 健康状態、生活習慣の状況

図表④-56 健康状態、生活習慣の状況

図表④-57 健康状態、生活習慣の状況

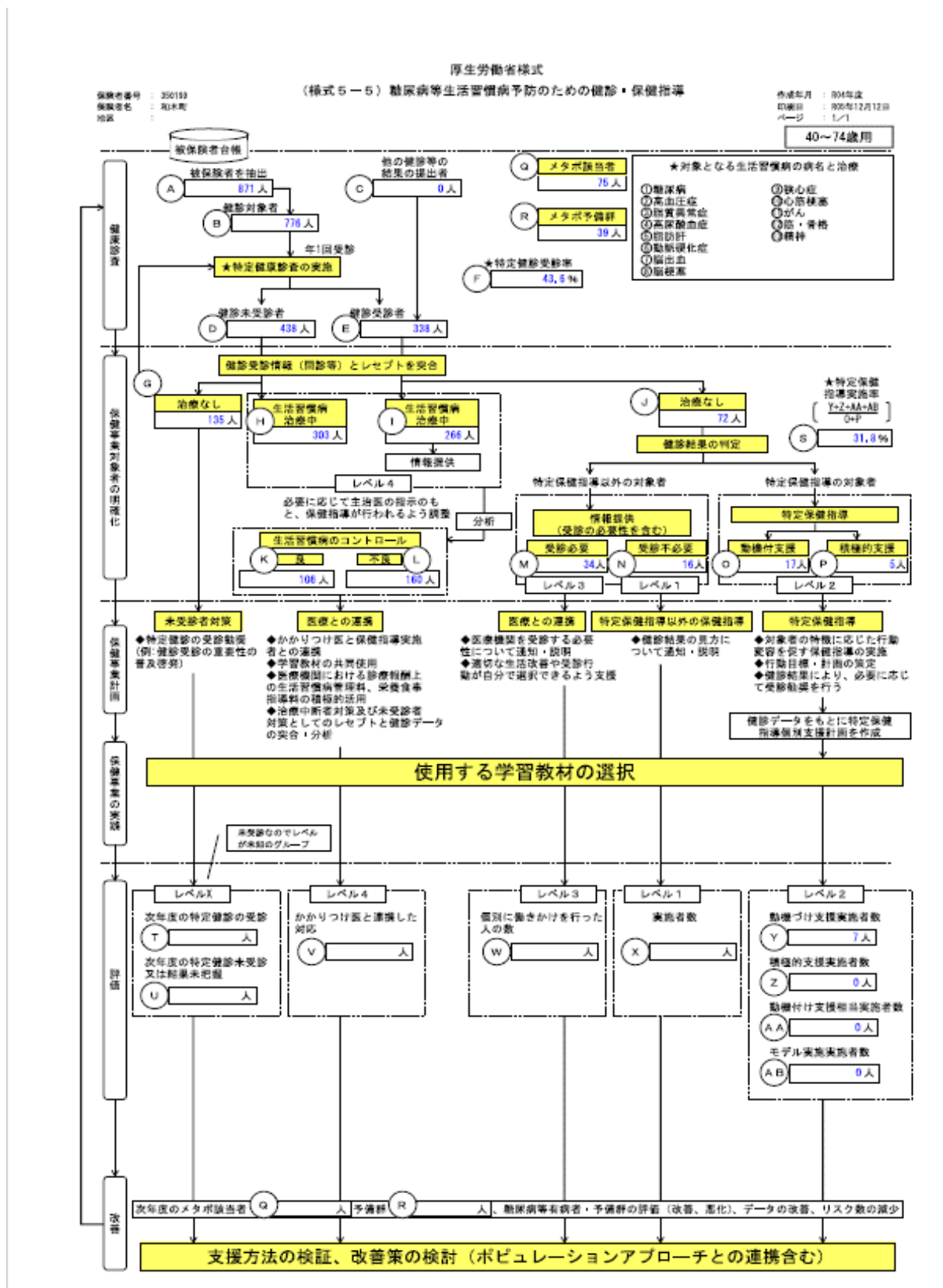
図表④-58 健康状態、生活習慣の状況

図表④-59 健康状態、生活習慣の状況

図表④-60 健康状態、生活習慣の状況

図表④ レセプト・健診データ等を組み合わせた分析

図表④－1 糖尿病等生活習慣病予防のための健診・保健指導



図表⑤-1 介護給付費の状況

左側グラフ: 従業員数(千人) (FY2019, FY2020)

事業種別	正社員	パート・アルバイト	その他
小売業	10,349	8,791	0.58
卸売業	14,480	12,062	12.79
サービス業	40,462	39,449	37.35
その他	47,434	50,671	45,837
合計	196,811	164,453	78,264
前年度比	133.11	127.80	100.00
前年度比	163.56	147.67	113.14

右側グラフ: 従業員数(千人) (FY2019, FY2020)

事業種別	R01	R2	R3	R4
小売業	12,315	8,500	13,854	15,439
卸売業	14,278	14,500	12,844	14,468
サービス業	37,281	37,613	38,380	39,579
その他	55,114	60,618	51,337	46,748
合計	119,988	111,003	122,040	136,234
前年度比	115.20	114,290	114,290	133.11
前年度比	111,109	109,113	109,637	133.11

1号固定率